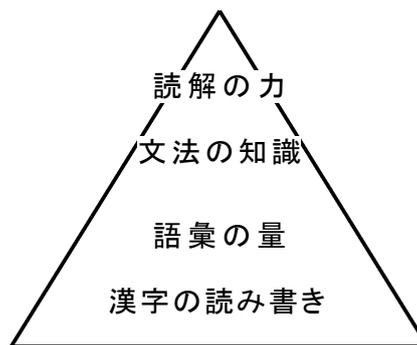


国語の勉強法

国語力は右の図のような力で成り立ちます。国語力をピラミッドにたとえたとき、一番下の土台の部分は、漢字の読み書きです。その次が、語彙の量で（知っている言葉の数）です。その上が文法の知識で、最後が読解の力になります。

このピラミッドのどこに自分のつまずきがあるか、つかむことがまず大切です。



授業の受け方

- (1) 国語は、授業で考えるときに力が育ちます。まず、授業に集中して、自分で考えたり、書いたりすることです。
- (2) 文章の種類によって、読み取りのポイントがあります。詳しいことは授業で説明しますので、しっかりつかんで下さい。
- (3) ノートは、縦書きで、「文字を」正しく速く整えて書くことが要求されます。板書をそのまま写すのではなく、ポイントを中心に自分なりの印や書き込みなどを工夫しましょう。

家庭学習の仕方

- (1) 予習
 - ① 新出漢字のまとめ、読みの練習
 - ② 教科書の欄外の語句の意味調べ、類義語、対義語、短文づくり
 - ③ 音読（学習しているところを5回は音読しましょう。）
- (2) 復習
 - ① ワークブックをやったり、ノートを再度まとめ直したりして、学習のまとめや確認をします。
 - ② 間違いは赤ペンで直し、なぜ間違えたかをもう一度考えることが大切です。
 - ③ 国語資料集やワークブックの資料をノートにまとめるなど、発展的な学習にチャレンジしよう。
 - ④ 関連する作家やジャンルの本を読み、作品のテーマについて考えよう。

テスト勉強の仕方

- (1) 中間・期末テストは、授業で習ったことが中心です。授業をしっかり聞き、考え、まとめておきます。
- (2) 新出漢字や語句の意味は必ず覚えておきましょう。自分でテストを作り、確かめをすることが重要です。
- (3) ワークブックや問題集を何度もやること、ノートの見直しやまとめもやりましょう。



受験勉強の仕方

- (1) 読むことに慣れること、わからない漢字や語句の意味は、面倒がらずに辞書で調べる習慣をつけておくことです。
- (2) 実践力をつけるためには、問題集や漢字ドリルなどを一冊仕上げることです。特に、記述問題は、答えを写すのではなく、まず自分の力でやってみる事です。
- (3) 国語資料集の古典や漢文の基本事項を理解し、覚えよう。
- (4) 国語資料集の文法や語句について理解し、覚えよう。
- (5) 必ず、定期テストの誤答レポートをつくり、弱点を補強しよう。